

街なかの中心となる街路に望まれる役割とその整備

秋田大学 学生会員 ○鈴木 諒
 秋田大学大学院 正会員 木村 一裕
 秋田大学大学院 正会員 日野 智
 秋田大学大学院 正会員 鈴木 雄

1.はじめに

秋田市では平成24年7月に再開発地区において、その拠点と位置付けられる複合商業施設「エリアなかいち」が誕生した。「エリアなかいち」は商業施設の他に文化施設や、移転による美術館の整備が行われ、新たなにぎわいの拠点と位置付けられている。新たな拠点が誕生したことにより、この「エリアなかいち」とJR秋田駅とを結ぶ街路「仲小路」にも中心市街地全体のにぎわいの創出や回遊性を向上させる役割が期待されている。本研究では街なかの中心となる街路である「仲小路」に着目し、街路の雰囲気、街路内での移動や交通、店舗の種類や歩行者用屋根の設置等のニーズの把握等を行うことで、中心となる街路における役割とその機能について考察する。

2. 調査概要

本研究では、拠点施設「エリアなかいち」の設置による効果の把握、「仲小路」に望まれる街路としての役割等を把握するために、秋田市の住民および秋田市内の大学生に対し意識調査を行った。調査の概要を表1に示す。住民と大学生合わせて243票を回収した。

表1 意識調査の概要

配布対象	秋田市内の3地域の住民	秋田市内の大学生
調査方法	投函・郵送回収方式	直接配布・直接回収方式
回収票数	190票(世帯回収率:27.6%)	53票(回収率:100%)
主な調査項目	拠点施設ができたことによる効果	
	主要となる街路に望まれる役割	
	主要となる街路に必要な整備や、街路内での移動	

3. 秋田市における中心市街地や「仲小路」の概要

(1) 秋田市中心市街地の概要

秋田市中心市街地内には、仲小路、広小路といった街路や通町という地区(図1)があり、それぞれ特色を持っている。主要な商業施設はJR秋田駅周辺に集中しており、歩行者の移動もこの範囲内で行われることが多い(表2)。「エリアなかいち」はJR秋田駅から西方約650mに位置し、徒歩で向かうには大屋根と呼ばれる約300mの歩行者専用道を通り、信号式の車道交差点を横断し、「仲小路」と呼ばれる歩道付きの街路を通過する。

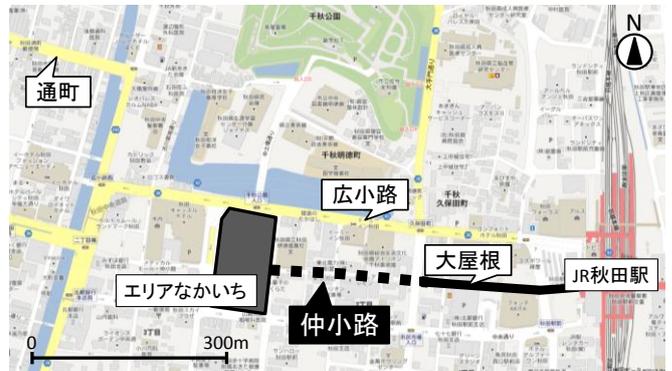


図1 秋田市中心市街地

表2 秋田市中心市街地の主な訪問場所

駅周辺(90.5%)	エリアなかいち周辺(17.9%)	通町(16.8%)
仲小路(15.2%)	広小路(11.0%)	

(2) 「エリアなかいち」の概要

「エリアなかいち」が出来てから中心市街地への訪問が増えた人は全体の21%であり、残りの79%は訪問頻度に変化はないと回答している。このため、秋田駅周辺から「エリアなかいち」に至る「仲小路」の魅力の向上、通行のしやすさが重要であると言える。これらのことが「エリアなかいち」や「仲小路」への訪問者を増加させるとともに、中心市街地全体の過ごしやすさを増加させるものと考えられる。

(3) 「仲小路」の概要

「仲小路」は現在、歩道が整備されているものの車両の進入が可能で、歩車共存となっている。歩道には段差や勾配があり、屋根はかかっていない。店舗はあるが賑わいが多いとはいえない。中心市街地の主な訪問場所として「仲小路」をあげる人は全体の15.2%と少ない。「仲小路」のイメージについて、「活気がある」と回答した人は全体の約10%、「魅力がある」と回答した人は約15%であり、あまり良いイメージがあるとはいえない(図2)。

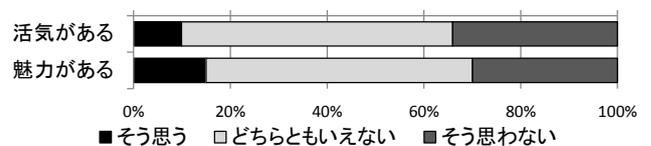


図2 「仲小路」のイメージ

連絡先：〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1番1号 TEL:(018)-889-2767 FAX:(018)-889-2975

キーワード：拠点施設、街路、意識調査

4. 訪問者が中心市街地の主要な街路に望む役割

訪問者が「仲小路」に望む街路の役割を把握するために、「雰囲気」「店・施設」「施策・整備」の3つに分類される16項目を選定し、5段階評価により意識調査を行なった。16項目の概要を表3に示す。

表3 「仲小路」に望まれる街路の役割の調査項目

雰囲気
1. 街路樹や花が植えられており、季節感を楽しめる
2. 美術館や博物館などがあり、文化的施設をまわられる
3. ベンチや休憩施設が充実しており、休憩や飲食をしながらゆっくり過ごせる
4. 古い建物や史跡が保存されており、歴史的な要素を楽しめる
5. 子どもを連れて親子が、ゆっくり楽しむことができる
6. オープンカフェなどがあり、人や街の流れを見て楽しめる
7. 来るたびに違ったイベントが行われ、何度きても飽きない
店・施設
8. 買い物や飲食、娯楽など様々な店・施設があり色々な用事を一度の来訪で済ませられる
9. 高級な店があり、歩いてウィンドショッピングが楽しめる
10. 直輸入品やオリジナル雑貨などを扱う、個性的な店がある
11. 絵画や骨董品など、そこでしか手に入らない専門的な店がある
12. チェーン店ではない、おしゃれなレストランがある
13. ファーストフードや若者向けの服屋など、若者が楽しめる
施策・整備
14. 景観が整備され、特に目的がなくても散策しているだけで楽しめる
15. 屋根がかかっており、天候に左右されずに通行できる
16. 車が入ってこない、子どもや高齢者が安心して過ごせる

各項目について、全体での評価結果をみると、3つの分類では「施策・整備」、「雰囲気」、「店・施設」の順に街路の役割として望まれていた。年齢別の各項目の評価をみると、「1.季節感を楽しめる」や「15.屋根があり天候に左右されない」、「16.車が入らず安全に過ごせる」などの項目で70歳以上の人の評価が高く、70歳以上の人は「仲小路」の役割として、買い物をするというよりは街路内でゆっくり過ごしたいといった傾向にあると考えられる。

5. 「仲小路」の整備と交通のあり方

(1) 「仲小路」の歩道等の整備

「仲小路」は現在、歩道・車道ともに屋根が設置されていない。歩道等の整備のあり方について屋根の必要性に対する意識を把握する。質問項目を表4に、年齢別、訪問手段別の結果を図3、図4に示す。

表4 「仲小路」における歩道等の整備のあり方質問項目

現状	現状のままでよい
歩道屋根	歩道だけを覆う屋根の設置
歩車道屋根	車道・歩道全体を覆う屋根の設置

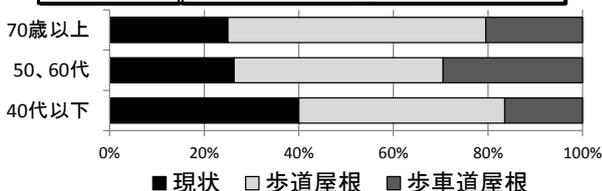


図3 年齢別歩道等の整備のあり方

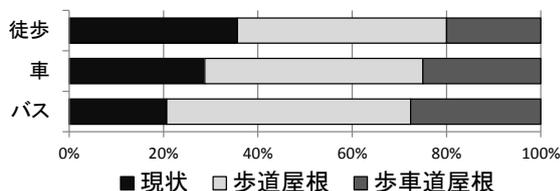


図4 訪問手段別歩道等の整備のあり方

結果をみると、全体的に「歩道だけを覆う屋根の設置」の値が大きい。特に、70歳以上の人と、バスで来訪する人で値が大きく、これらのことが望まれていることがわかる。「仲小路」でゆっくり過ごしたい人が特に屋根の設置を望んでいると考えられる。

(2) 「仲小路」の交通のあり方

現在「仲小路」では、車両の進入が可能であり、歩車共存となっている。「仲小路」内での交通のあり方を把握するために、表5の項目において質問している。その結果を図5、図6に示す。

表5 「仲小路」内での交通に関する質問項目

現状	現在のように自転車や歩行者、自動車等が通行する街路
許可制	自動車は許可されたもののみとし、できるだけ歩行者、自転車を優先する街路
時間制	昼間は歩行者専用とする街路(時間制限による歩行者専用)
トランジット	公共交通(小型バス、タクシー)と歩行者のみ通行できる街路(トランジット・モール)
歩行者天国	終日、歩行者だけが通れる街路(歩行者天国)

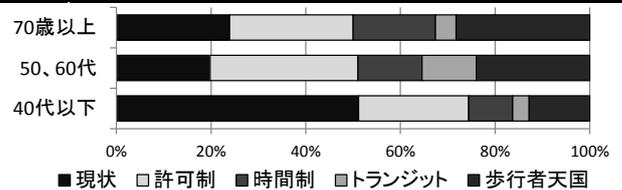


図5 年代別「仲小路」内での交通のあり方

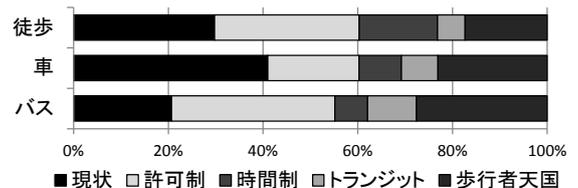


図6 訪問手段別「仲小路」内での交通のあり方

40代以下の人で「現状のままでよい」が多いのに対し、70歳以上の人では「歩行者天国」であるべきだと回答する人が多い。訪問手段別にみると、車で来訪する人は「現状のままでよい」とする人が多い一方で、車で来訪するにもかかわらず約20%の人が「仲小路」は「歩行者天国」であるべきだと回答している。「許可制」や「時間制」、「トランジット」の可能性も含め、「仲小路」の特徴や役割を把握したうえでの施策が求められる。

6. おわりに

「エリアなかいち」という新しい拠点ができただけにもかかわらず、「仲小路」の訪問は増えているとはいえない。「仲小路」に望まれる街路としての役割では「屋根があり天候に左右されない」、「車が入らず安全に過ごせる」の評価が高いことや、多くの人が歩道や車道の屋根の設置を望んでいることから、現在「仲小路」手前までしか設置されていない大屋根を「エリアなかいち」まで延長させることも有効な施策と考えられる。また、大屋根の延長に伴い、「歩行者天国」や「トランジット」の実施なども併せて考えていく必要があるといえる。